

平成 28 年度 医療研究開発推進事業費補助金  
成果報告書

I. 基本情報

事業名：(日本語) 国産医療機器創出促進基盤整備当事業  
(英語) Project to Build Foundations to Support and Incentivize Development of Medical Devices Made in Japan

補助事業課題名：(日本語) 国産医療機器創出促進基盤整備当事業  
(英語) Project to Build Foundations to Support and Incentivize Development of Medical Devices Made in Japan

補助事業担当者 (日本語) 九州大学医学研究院 教授 橋爪 誠  
所属 役職 氏名：(英語) Faculty of Medical Science, Kyushu University, Professor, Makoto Hashizume

実施期間：平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

II. 成果の概要 (総括研究報告)

- ・ 補助事業代表者による報告の場合

和文

(1) 臨床現場見学

3 診療科においてのべ 5 社 12 人の臨床見学を受け入れた。

(2) 医療機器開発の研究開発や事業化に関する研修、助言・指導

平成 29 年 2 月にセミナーを実施し、121 人 38 社の参加があった。個別の助言・指導については、10 社に対して 11 回 15 時間の相談を受け付けた。

(3) 医療機器の研究開発に関するシンポジウム・交流セミナーの実施

平成 28 年 12 月 5 日に探索型共同研究説明会・交流会を開催し、企業からは 3 社 5 人および臨床医 11 人の参加があった。

平成 29 年 2 月 25 日にシンポジウムを開催し、九州大学病院・東京女子医科大学・国立循環器病センターの各拠点の取り組みについて情報交換した。22 人 6 社の参加があった。

(4) ニーズ集約

本学で実施している内視鏡外科トレーニングセミナーにおいて受講生からアンケートでニーズ

を収集した。35人3社の参加があり22件のニーズを収集した。

10人7社の共同研究企業に対して16件のニーズを提供した。

(5) 医療機器体験・分析セミナーの実施

トレーニングセンターにおいて、単回使用手術機器の体験および分析セミナーを実施し、11名8社の参加があった。セミナーでは手術デバイスの使用体験し、参入のためのヒント・条件について議論した。

英文

(1) Observation of clinical settings

Twelve persons from five companies participated in clinical observation at three hospital department.

(2) Seminar, advice and coaching of R&D and commercialization of clinical devices

121 persons from 38 companies participated in the seminar that were held at February, 2019. As for individual advice and coaching, we advised 10 companies.

(3) Symposium and industrial-medical exchange seminar

Five persons from three companies and 11 MDs participated the exchange seminar that were held in December, 2016. 22 persons from six companies were participated in the symposium that were held in February, 2017. In the symposium, activities of this project were exchanged among Kyushu University, Tokyo Women's Medical University, and National Cerebral and Cardiovascular Center.

(4) Clinical needs survey

22 clinical needs were collected from 35 young MDs at the training seminar of endoscopic surgery. 16 needs were suggested to 7 companies.

(5) Seminar of clinical device experience and analysis

11 persons from 8 companies participated the seminar. In the seminar, participants experienced surgical devices and discussed about business model.

### III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧（国内誌 0 件、国際誌 0 件）

該当なし

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

該当なし

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み

1. 内視鏡外科トレーニングセンターを活用した事業化テーマ探索型共同研究，口頭，橋爪誠，平成 28 年度国産医療機器創出促進基盤整備等事業シンポジウム，2016/12/5，国内
2. 世界の手術マニピュレータの開発動向と当施設での製品開発経験，口頭，中楯龍，平成 28 年度国産医療機器創出促進基盤整備等事業シンポジウム，2016/12/5，国内
3. 仏ストラスブール大学における産学官連携の現状，長尾吉泰，平成 28 年度国産医療機器創出促進基盤整備等事業シンポジウム，2016/12/5，国内

(4) 特許出願

該当なし